

## 次期出雲市総合振興計画の策定状況について

### 1. 出雲市総合計画審議会委員

(任期：令和3年10月21日から諮問にかかる調査・審議が終了するまで)

(敬称略 五十音順)

No.	委員名	区分	組織・役職等	備考
1	青山 博之	漁業	漁業協同組合JFしまね大社支所長	
2	安喰 愛	スポーツ	(公財)島根県体育協会	
3	板垣 成二	議会	出雲市議会副議長	
4	岡 彩子	青年	出雲青年会議所ひとづくり委員会委員長	
5	落合 のり子	男女共同参画	島根県立大学看護栄養学部看護学科准教授 出雲市男女共同参画推進委員会会長	
6	金築 千晴	教育	出雲市教育委員	
7	河上 史子	多文化共生	NPO法人出雲フィンランド協会	
8	北村 功	IT	チーム出雲オープンビジネス協議会会長	
9	齋藤 茂子	健康・福祉	島根県立大学名誉教授、出雲市社会福祉協議会副会長 出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会委員長	
10	塩飽 邦憲	健康・福祉・医療	島根大学名誉教授、出雲市介護保険運営協議会会長、 出雲市障がい者施策推進協議会会長	
11	高砂 明弘	林業	出雲地区森林組合代表理事組合長	
12	田邊 達也	観光	出雲観光協会会長	
13	萬代 輝正	議会	出雲市議会議長	
14	福島 沙織	中山間地域	地域おこし協力隊員	
15	堀江 泰誠	子育て	出雲市保育協議会会長	
16	松林 亜希子	ボランティア	こりょうブックフレンド	
17	水師 幸夫	自治会	出雲市自治会連合会会長	
18	三吉 庸善	商工業	出雲商工会議所会頭	会長
19	山崎 英樹	青年	出雲青年会議所理事長	
20	山根 善治	農業	JAしまね斐川地区本部常務理事本部長	
21	山本 富子	環境	NPO法人かえる倶楽部理事長	
22	吉田 美智子	芸術文化	出雲文化伝承館館長	副会長

### 2. 出雲市総合計画審議会開催状況

#### (1) 第1回会議の開催

- ①日 時 令和3年10月21日 (木)
- ②内 容・出雲未来図の検証結果について  
 ・次期出雲市総合振興計画の策定について

※第2回総合計画審議会を12月21日(火)に開催予定

### 3. 「市民満足度調査」及び「高校生アンケート調査」の結果について（暫定版）

#### （1）市民満足度調査について

- ①調査対象者 市内在住の18歳以上の者（外国人住民含む）
- ②調査数 住民基本台帳から無作為抽出した4,000人
- ③調査方法 郵送回答又はWeb回答
- ④調査期間 令和3年9月24日～10月10日
- ⑤調査項目
  - ・出雲市の住みやすさ、定住意向
  - ・市の施策・取組（61項目）についての重要度、満足度
  - ・市の施策や取組のうち、今後特に重要で、かつ不十分であると思う項目、またその理由
  - ・その他自由記述の質問など

#### 【調査の結果】

回収数：1,718人（回収率43.0%）

（内訳 郵送回答1,188人 Web回答530人）

#### （2）高校生アンケート調査について

- ①調査対象者 市内の高等学校8校に通う3年生
- ②調査方法 学校を通じて調査票を配布・回収（無記名）
- ③調査期間 令和3年9月～10月
- ④調査項目
  - ・出雲市に愛着、魅力・誇りを感じるか
  - ・出雲市への定住意向とその理由
  - ・出雲市のまちづくりに向けて重要だと思う取組
  - ・その他自由記述の質問など

#### 【調査の結果】

回収数：1,376人

### 参 考

### ～市民満足度調査票の様式～

#### 市民満足度調査票

#### 1. 現在の出雲市についておたずねします。

【問1】 出雲市のまちづくりにとって次の施策や取組は、どの程度重要だと思いますか。また、どの程度満足していますか。次の61項目について、あなたの意見に近いものをそれぞれ5つの選択肢の中から1つだけ選んで○を付けてください。

施策・取組	重要度					満足度				
	重要である	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	わからない
都市基盤・機能について										
1. 身近な道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 歩道整備などバリアフリーに対する配慮	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⋮										

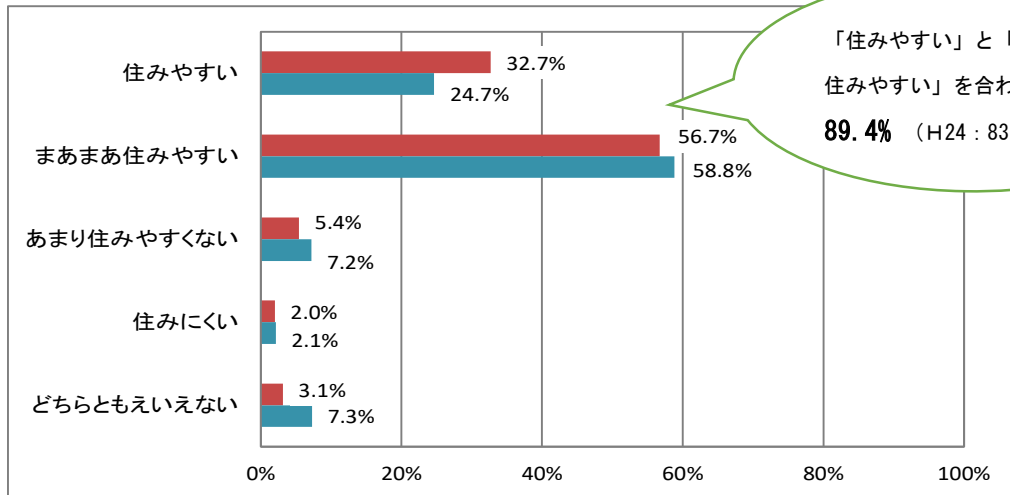
## 4. 市民満足度調査の結果概要

### (1) 出雲市の住みやすさ・定住意向

●出雲市の住みやすさについて、どのようにお感じですか。

今回 (R3)

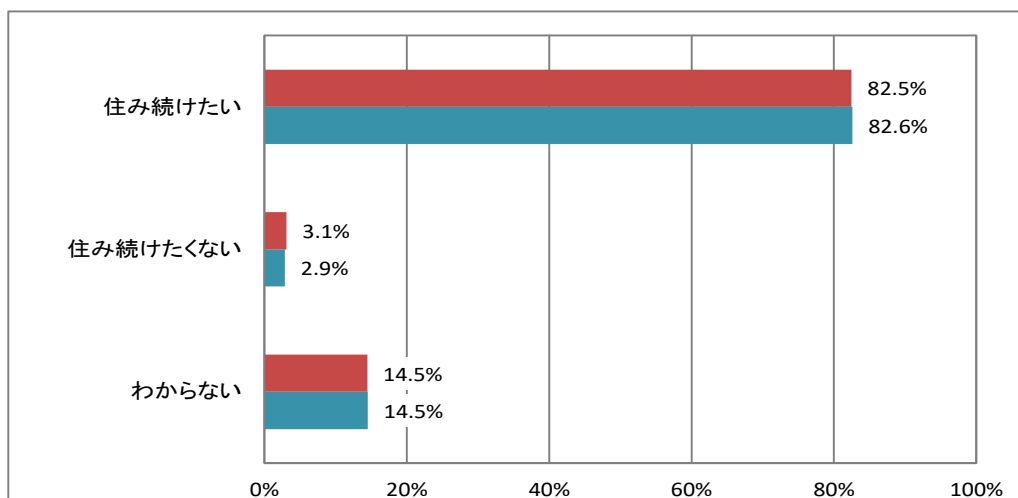
(H24)



●これからも出雲市に住み続けたいと思いますか。

今回 (R3)

(H24)



約9割の方が「住みやすい（まあまあ住みやすい）」と回答  
H24から6%増加

- 「住みやすい」と回答した人の割合は32.7%で、平成24年度調査と比べて8.0ポイント増加しました。「まあまあ住みやすい」とあわせると、回答者の89.4%が「住みやすい」と回答しています。
- 「これからも出雲市に住み続けたい」と回答した人は82.5%で、平成24年度調査（82.6%）と同程度となりました。

(2) 市の施策・取組についてのニーズ度（重要度・満足度）

■ 各施策の重要度、満足度について、アンケート調査結果を点数化することによって評価  
 ≪各項目ごとに色分け≫

都市基盤・機能について	生活環境について
産業・経済について	安心・安全について
教育・文化について	まちづくり、行政サービスについて
健康・福祉について	

① 【重要度 上位10項目】※重要度が高い順

令和3年度 重要度上位10項目	点数	平成24年度 重要度上位10項目	点数
消防、救急体制の充実・強化	87.0	病院、診療所等の充実	85.8
義務教育(小中学校)の充実	84.8	消防、救急体制の充実・強化	83.7
防災体制の充実・強化	84.6	防災体制の充実・強化	80.2
病院、診療所等の医療施設の充実	84.4	幼児教育、義務教育	79.5
ごみの収集、減量やリサイクルなどの取組	80.7	就職支援の取組み	77.7
子育て支援の充実	79.9	ごみの収集、減量やリサイクル	75.3
保健施策の充実	79.8	保健施策の充実	73.8
防犯に関する取組	79.0	子育て支援の充実	73.8
交通安全対策の充実	77.9	交通安全対策の充実	72.6
幼児教育の充実	77.4	防犯に関する取組み	72.4

- 今回調査と平成24年度調査のどちらも、重要度が高い上位10項目のうち4項目を「安心・安全」分野が、3項目を「健康・福祉」分野がそれぞれ占めています。
- 平成24年度調査と比較すると、「就職支援の取組」が上位10項目から外れています。

② 【満足度 下位10項目】※満足度が低い順

令和3年度 満足度下位10項目	点数	平成24年度 満足度下位10項目	点数
公共交通機関(バス)の利用しやすさ	△ 34.0	就職支援の取組み	△ 46.3
歩道整備などバリアフリーに対する配慮	△ 27.8	新エネルギーの利用促進	△ 37.5
就職支援の取組	△ 22.3	バスの利用しやすさ	△ 35.0
周辺地域の整備	△ 21.0	企業誘致の取組み	△ 31.5
企業誘致による雇用の拡大	△ 18.9	歩道整備などバリアフリー	△ 30.0
義務教育(小中学校)の充実	△ 18.8	観光客誘客	△ 26.7
農業振興の取組	△ 17.3	定住促進に関する取組み	△ 25.9
公共交通機関(JR)の利用しやすさ	△ 16.5	林業振興の取組み	△ 25.8
高速道路など広域的な道路網の整備	△ 16.4	商工業振興の取組み	△ 23.6
林業振興の取組	△ 13.9	観光施設の整備、活用	△ 22.7

- 「都市基盤・機能」分野と、「産業・経済」分野の満足度が低い傾向にあります。
- 「公共交通機関(バス)の利用しやすさ」は、点数としては平成24年度と大きくは変わりませんが、今回調査では満足度が最も低くなっています。
- 下位10項目を平成24年度調査と比較すると、「産業・経済」分野が7項目から4項目に減少する一方で、「都市基盤・機能」分野が2項目から5項目に増えています。

③ 【ニーズ度 上位10項目】 ※ニーズ度＝①重要度－②満足度

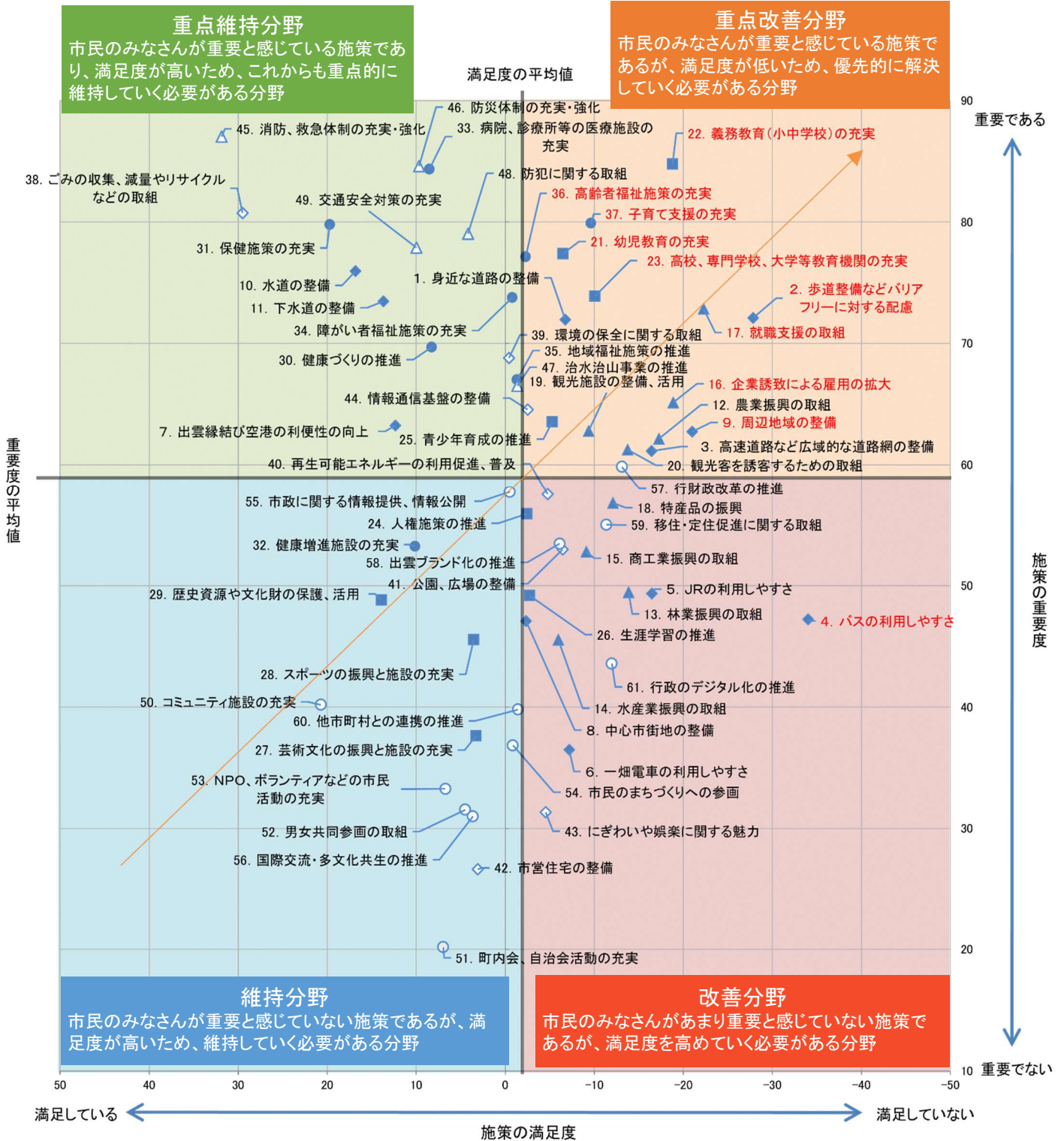
令和3年度 ニーズ度上位10項目	点数	平成24年度 ニーズ度上位10項目	点数
義務教育(小中学校)の充実	103.5	就職支援の取り組み	124.0
歩道整備などバリアフリーに対する配慮	99.9	新エネルギーの利用促進	※98.5
就職支援の取組	95.1	歩道整備などバリアフリー	95.2
子育て支援の充実	89.5	観光客誘客	93.1
企業誘致による雇用の拡大	84.0	企業誘致の取り組み	90.9
高校、専門学校、大学等教育機関の充実	84.0	観光施設の整備、活用	86.4
幼児教育の充実	83.9	子育て支援の充実	86.1
周辺地域の整備	83.7	定住促進に関する取り組み	82.4
公共交通機関(バス)の利用しやすさ	81.2	高齢者福祉施策の充実	81.3
高齢者福祉施策の充実	79.4	幼児教育、義務教育	79.1

平成24年度調査において「産業・経済」分野に分類されている「新エネルギーの利用促進」は、令和3年度調査では同じ分野・名称の項目が無く、「生活環境」分野に「再生可能エネルギーの利用促進」という項目があります。

- 「都市基盤・機能」分野や「教育・文化」分野のニーズ度が高い傾向にあります。
- 上位10項目を平成24年度調査と比較すると、「産業・経済」分野が少なくなり、「都市基盤・機能」分野と「教育・文化」分野の項目が増えています。
- 項目ごとにみると、「高校、専門学校、大学等教育機関の充実」、「周辺地域の整備」、「公共交通機関(バス)の利用しやすさ」が新たに入り、「新エネルギーの利用促進、普及」、「観光施設の整備、活用」、「観光客を誘客するための取組」、「定住促進に関する取組」が外れています。

# ■今回（令和3年度）のニーズマップ

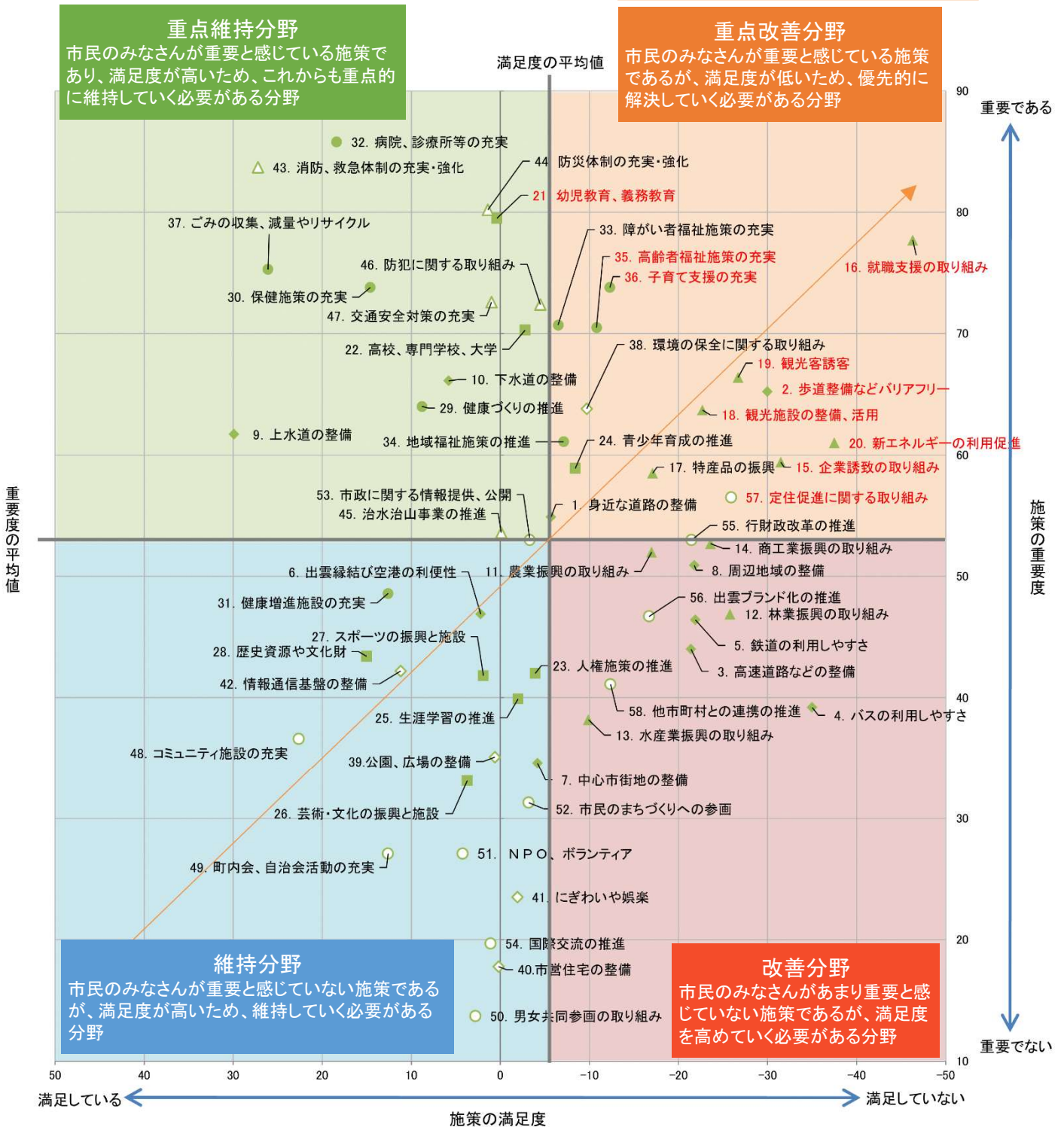
右上にあるものほど優先的に  
取り組むべき施策  
(ニーズ度のベスト10の施策を赤字)



- ◆ 都市基盤・機能について
- ▲ 産業・経済について
- 教育・文化について
- 健康・福祉について
- ◇ 生活環境について
- △ 安心・安全について
- まちづくり、行政サービスについて

# ■平成24年度のニーズマップ

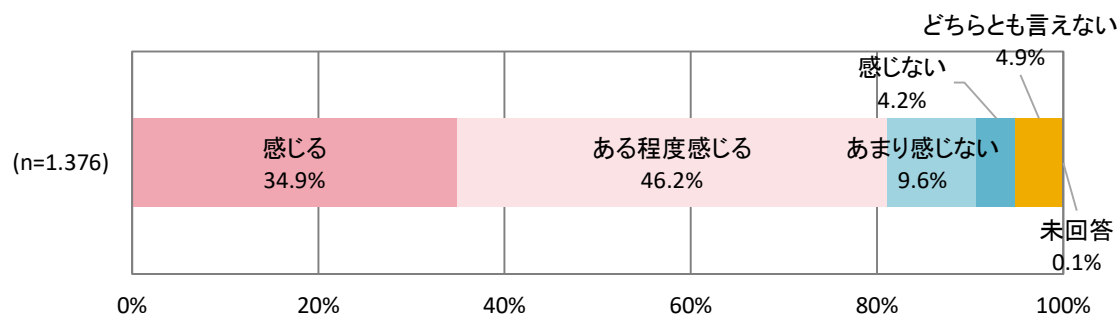
右上にあるものほど優先的に  
取り組むべき施策  
(ニーズ度のベスト10の施策を赤字)



- ◆ 都市基盤・機能について    ▲ 産業・経済について    ■ 教育・文化について
- 健康・福祉について    ◇ 生活環境について    △ 安心・安全について
- まちづくり、行政サービスについて

## 5. 高校生アンケート調査の結果概要

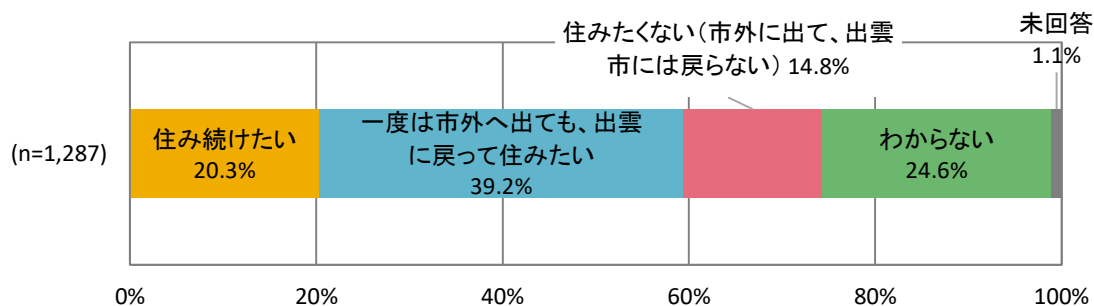
### (1) 出雲市に愛着や魅力・誇りを感じるか



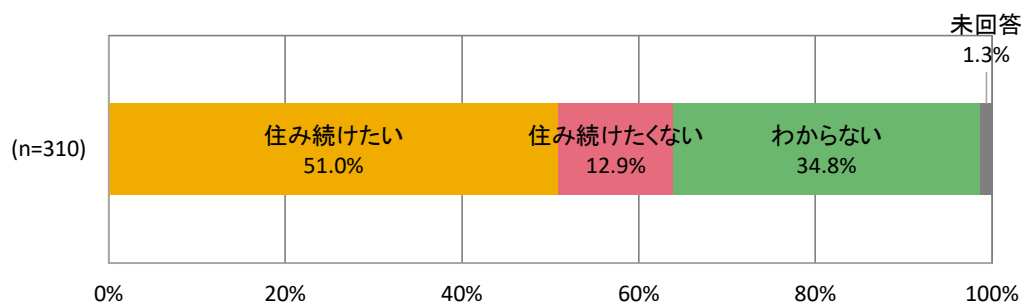
- 「ある程度感じる」が46.2%で最も高く、「感じる」とあわせると81.1%となり、全体の8割強が「愛着や魅力・誇りを感じる」と回答しています。

### (2) 出雲市への定住意向

- これからも出雲市に住み続けたいと思いますか。(出雲市にお住まいの方のみ)

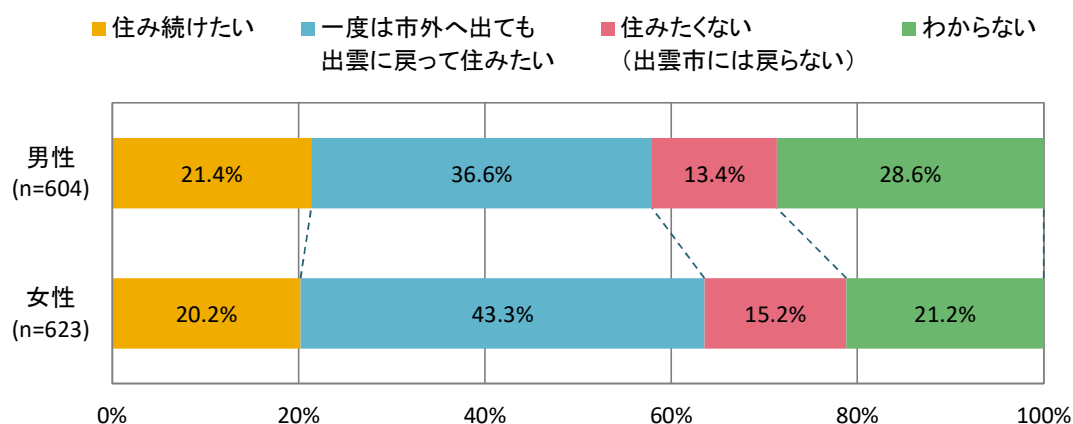


#### 参考：平成24年度調査

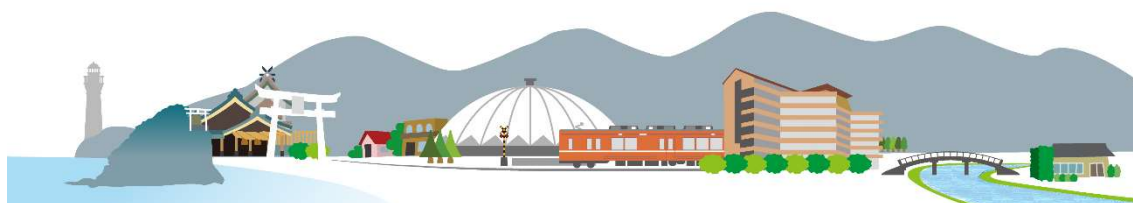




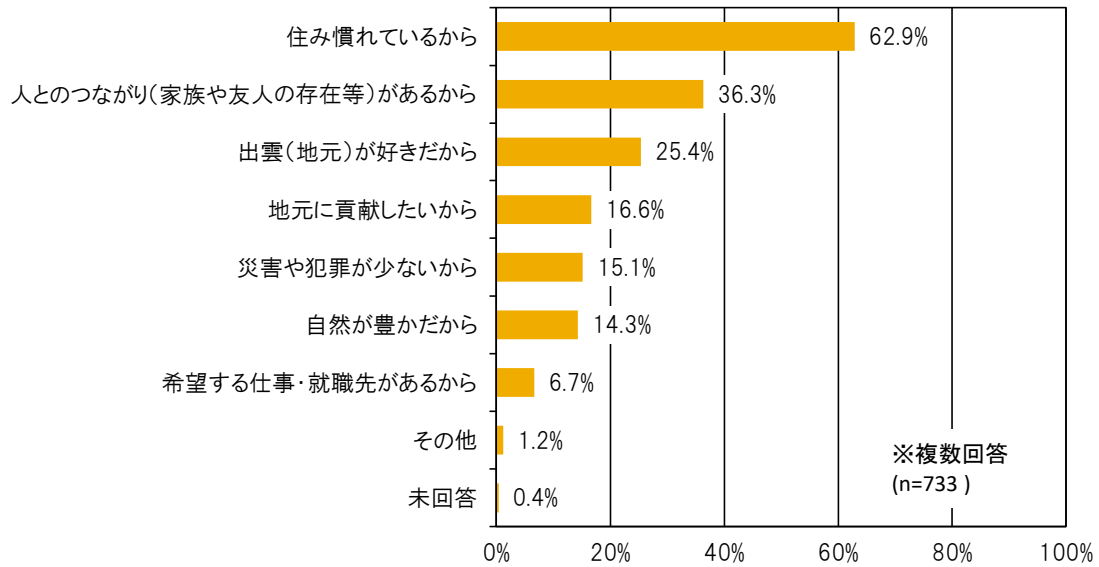
## 【男女別】



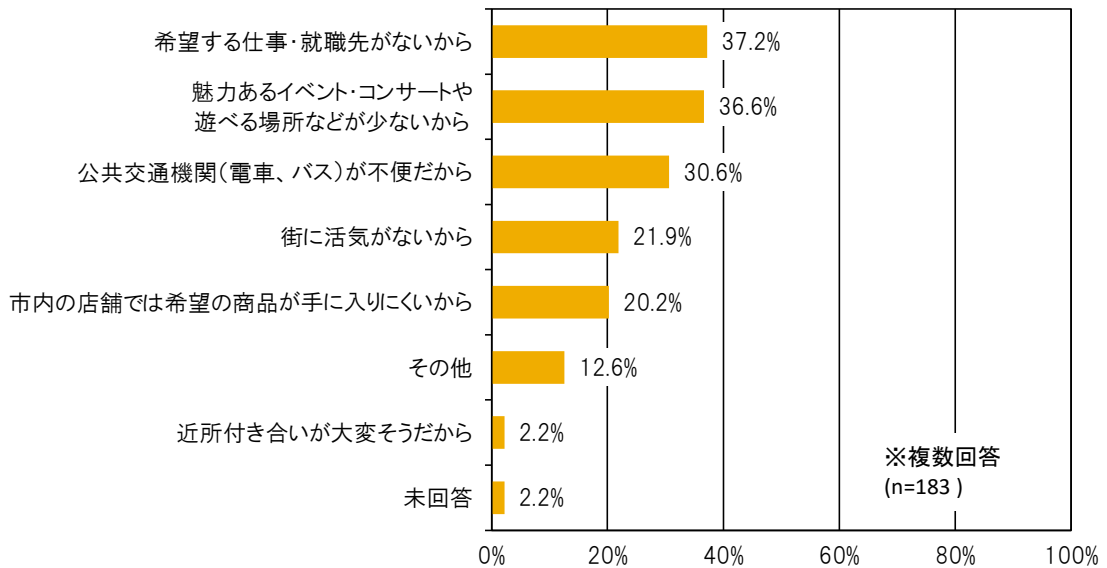
- 「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」が39.2%で最も多く、「住みたい」の20.3%と合わせると、全体の6割弱が定住意向を示しています。
- 男女別にみると、「住みたい」と回答した人が男性は21.4%、女性は20.2%であり、わずかに男性の割合が高くなりました。
- 一方、「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」と回答した人は、男性が36.6%、女性が43.3%と女性の割合が高くなり、「住みたい」と「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」をあわせると、女性の割合が高い結果となりました。



●出雲市に住みたい理由を教えてください。(出雲市に「住み続けたい」または「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」を選択した方のみ回答)

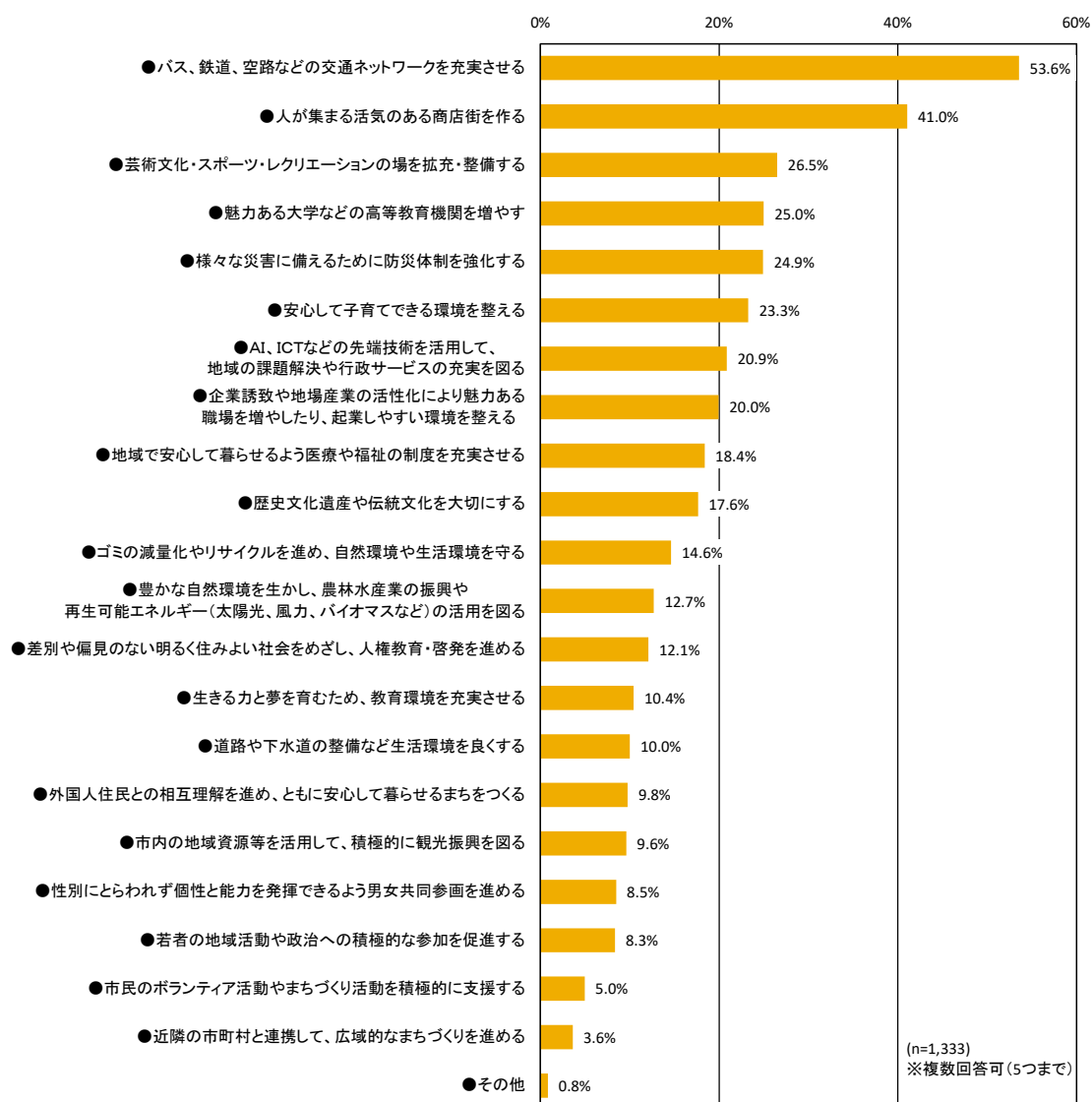


●出雲市に住みたくない理由を教えてください。(出雲市に「住みたくない(市外に出て、出雲市には戻らない)」を選択した方のみ回答)



### (3) 将来の出雲市について

●今後の出雲市のまちづくりに向けて、あなたが重要だと思う取組は何ですか。(5つまで)



- 今後の出雲市のまちづくりに向けて、重要だと思う取組としては、「バス、鉄道、空路など交通ネットワークを充実させる」が53.6%、「人が集まる活気のある商店街をつくる」が41.0%となっており、この2つが特に高くなっています。
- 続いて「芸術文化・スポーツ・レクリエーションの場を拡充・整備する」が26.5%、「魅力ある大学などの高等教育機関を増やす」が25.0%、「様々な災害に備えるために防災体制を強化する」24.9%などとなっています。